

中央地区まちづくり協議会 第3回ワーキンググループ資料

2023.2.20

本日の議題

- 1 前回ワーキンググループの振り返り
- 2 学生委員会等で出た意見の共有
- 3 中央地区のまちづくりのコンセプトの検討

1-1 前回ワーキンググループの振り返り



コンセプトを決めるまでのイメージ

前はここ



STEP 1 中央地区に関するキーワード探し



STEP 2 探したキーワードをもとにコンセプトの協議



STEP 3 コンセプトの決定

1-2 前回ワーキンググループで出た意見



世界一、世界初

協力的・つながり

人が歩く
(特に子ども)

スタバ

楽しい場所

若者が戻りたくなる
まち

ソフト面の充実

きらんのような
施設

たまり場

期待感

本屋が少ない

新しい何かを
作り出す

新しいまち

宿泊施設

過去の栄光を捨てる

気持ちをリセット

図書館などの
文化施設

室蘭の大型
店舗を考慮

特別感

雨でも利用できる
文化ホール

①市役所庁舎の跡地は何に活用すればいいと思いますか？

②今後、中央地区はどのようなまちになればいいと思いますか？

2-2 高校生・専門学校生との意見交換で出た意見



高校生・専門学校生から出た意見

- ・多くの人が利用できるレンタルスペースがある施設
- ・室蘭市にある「きらん」のような複合的な施設
- ・ホテルや図書館など、複合的な施設ができるといい
- ・学生が気軽に遊びに行ける施設（新生町や若草町までは行けないので）
- ・ホテルを建設するのであれば、デユース機能があるといい
- ・学生が集まれるスペースがあるといい
- ・アルバイトできるような施設ができると、学生の選択肢も増える
- ・本庁舎跡地に一般的な公園ができても利用しないと思う
- ・学生でも気軽に立ち寄れる飲食店があるといい
- ・図書館に自習スペースやカフェスペースがあると、学校帰りに立ち寄りたい
- ・図書館をリニューアルするなら、学生が参考にできる専門的な書籍を充実させてほしい
- ・シェアハウスなど、若い世代が起業し、若者が集うような施設があるといい

3-1 アンケートも実施しました

意見交換の際に言わなかった(言えなかった)個人の意見もあると思い、アンケートを実施しました。

アンケート対象者

- | | |
|---------------------|--------|
| ① 日本工学院北海道専門学校公務員学科 | |
| ② 学生委員会 | 合計 17名 |

3-2 アンケートの設問



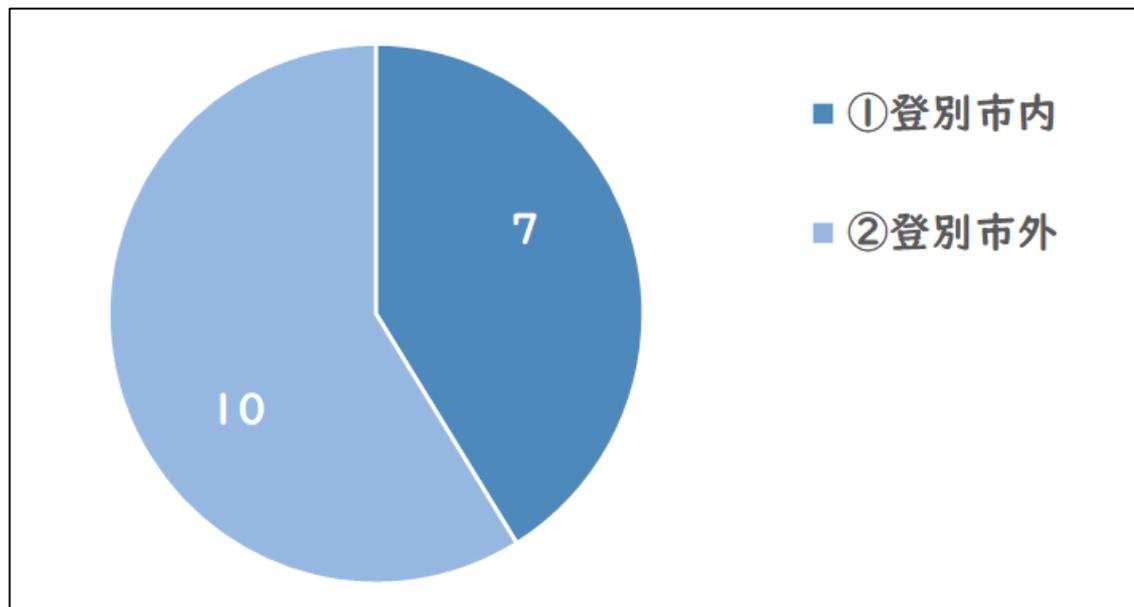
設問	質問内容
1	あなたのお住まいを教えてください。 ※市内・市外から選択
2	あなたが遊びに行きたいと思うまちは、どんなまちですか。
3	10年後、あなたはどのようなまちに住みたいですか。
4	あなたが将来住むなら、どのようなまちを選択しますか。 ※ひとつ選択 ①子どもや高齢者にやさしいまち ②経済や商業が発展し、にぎわいがあるまち ③自分の好きなことやものが近くにあるまち ④災害が発生するおそれが少ないまち
5	あなたが考える、登別市のいいところってなんですか。 ※温泉と3大テーマパークは除く
6	あなたが考える、登別市に「ない」、「足りない」と感じることはなんですか。
7	あなたが「中央地区（幌別駅周辺や市役所周辺）」と聞いて、思い浮かぶことやものはなんですか。
8	あなたは登別市に「住んでみたい」、「住み続けたい」と思いますか。 ※ひとつ選択 ①住み続けたい ②住み続ける予定はない ③わからない

3-3 アンケートの回答



①あなたのお住まいを教えてください。 ※市内・市外から選択

アンケート結果



②あなたが遊びに行きたいと思うまちは、どんなまちですか。

アンケート結果から抜粋

- ・若者が気軽に入れる店などが充実しているまち
- ・コラボイベント、お祭りなどの、にぎやかやイベントがたくさん開催されるまち
- ・ご飯屋さんがたくさんあるところ
- ・服やカフェがあるようなまち
- ・ショッピング、娯楽施設、宿泊施設が充実してるところ
- ・おもろい町
- ・そこにしかない特色があるまち

③10年後、あなたはどのようなまちに住みたいですか。

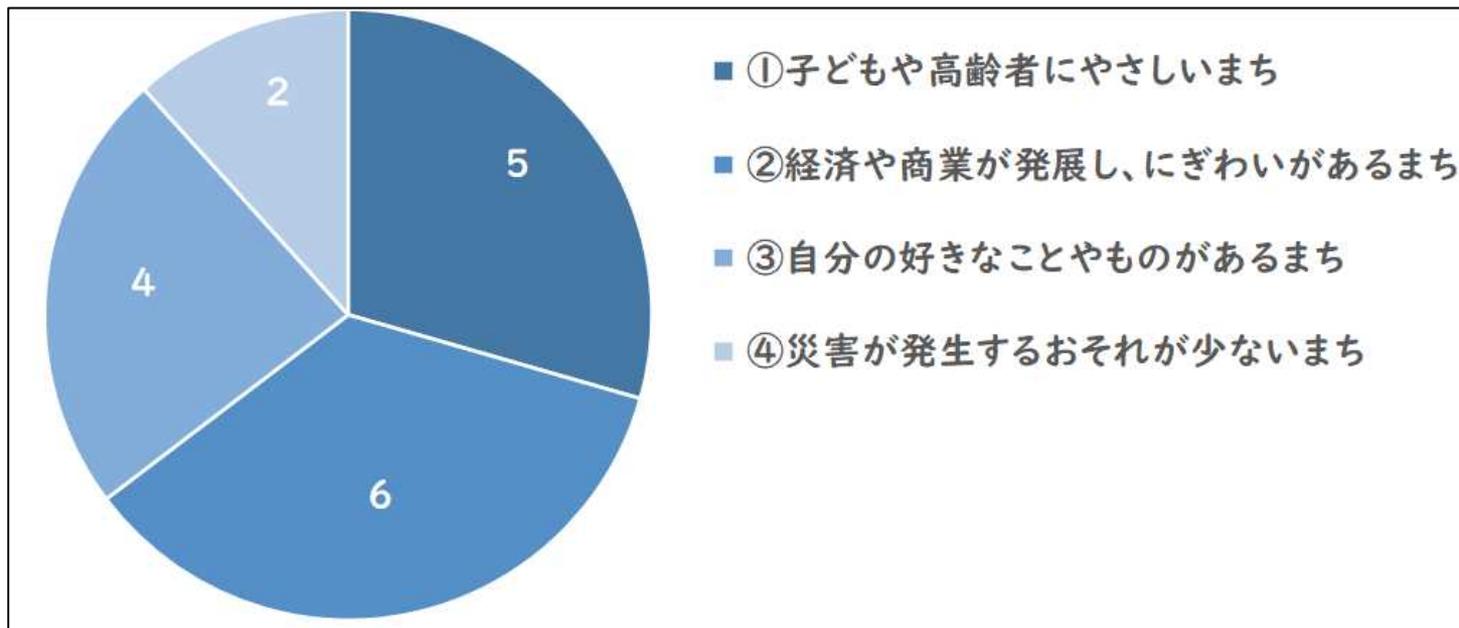
アンケート結果から抜粋

- ・暮らしやすいような政策をしているまち
- ・車が無くても不便しないまちに住みたいです。
- ・住むのに不便がないまち
- ・都会すぎず田舎過ぎないところ
- ・市民の人達が笑顔で優しいまち
- ・おもしろい町
- ・まちに住んでいる人が優しく温かいまち
- ・子育てしやすく刺激のあるまち

3-6 アンケートの回答

④あなたが将来住むなら、どのようなまちを選択しますか。

※ひとつ選択



⑤あなたが考える、登別市のいいところってなんですか。

※温泉と3大テーマパークは除く

アンケート結果から抜粋

- ・食べ物チェーン店が固まっているから外食したい時に候補が多くて助かる
- ・若者がしてくれて嬉しい政策をしてくれている所
- ・不便がない
- ・コンパクトで移動しやすい
- ・サンライバスキー場がある
- ・自然が豊か
- ・公園から海が見える空が広い
- ・景色がきれい

⑥あなたが考える、登別市に「ない」、「足りない」と感じることはなんですか。

アンケート結果から抜粋

- ・歴史的建造物、あるのであればもっと目立たせるべき
- ・学生が好むようなオシャレな場所
- ・栄えてるところが、若草方面なところ
- ・交通がまだ不便
- ・本屋さん
- ・こどもの遊び場
- ・宿泊施設(中央地区)
- ・貴重な体験

3-9 アンケートの回答



⑦あなたが「中央地区（幌別駅周辺や市役所周辺）」と聞いて、思い浮かぶことやものはなんですか。

アンケート結果から抜粋

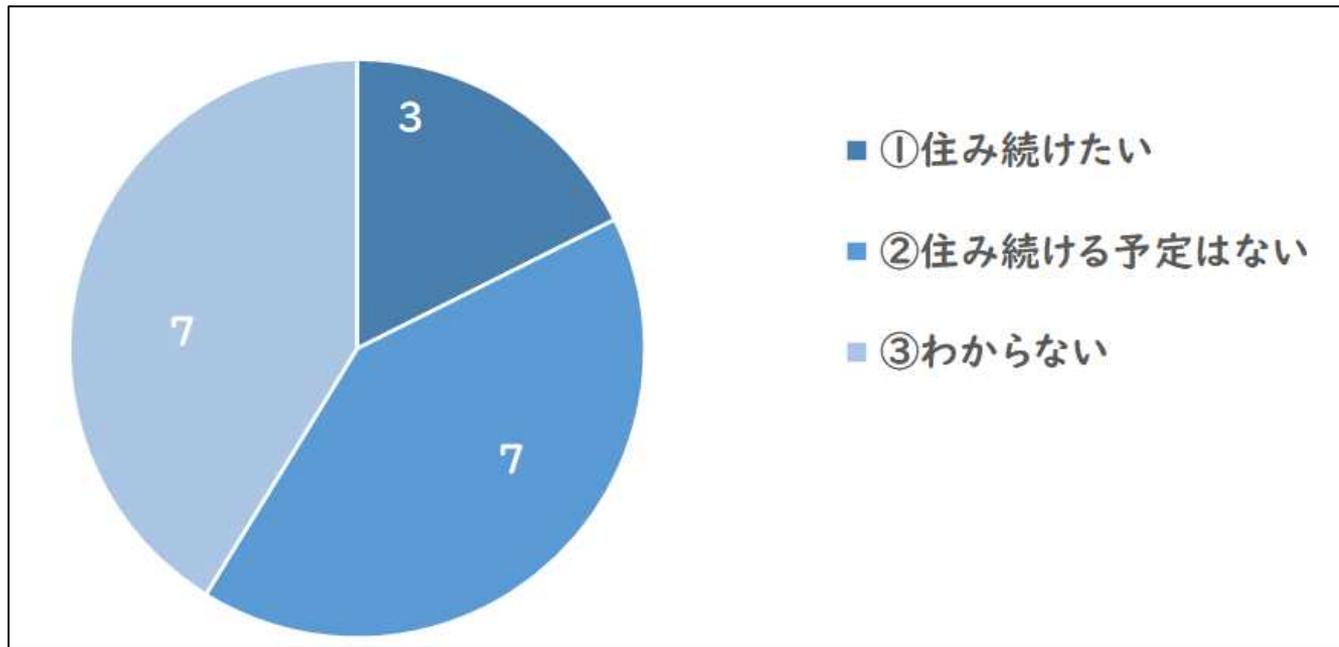
- ・アーニス
- ・カナディアンフライドチキン
- ・居酒屋が多い
- ・登別市の中心
- ・海、星空、景色、都会

3-10 アンケートの回答



⑧あなたは登別市に「住んでみたい」、「住み続けたい」と思いますか。

※ひとつ選択



4-1 本日のワーキンググループ協議事項

コンセプトを決めるまでのイメージ

STEP 1 中央地区に関するキーワード探し



今日はここ



STEP 2 探したキーワードをもとにコンセプトの協議

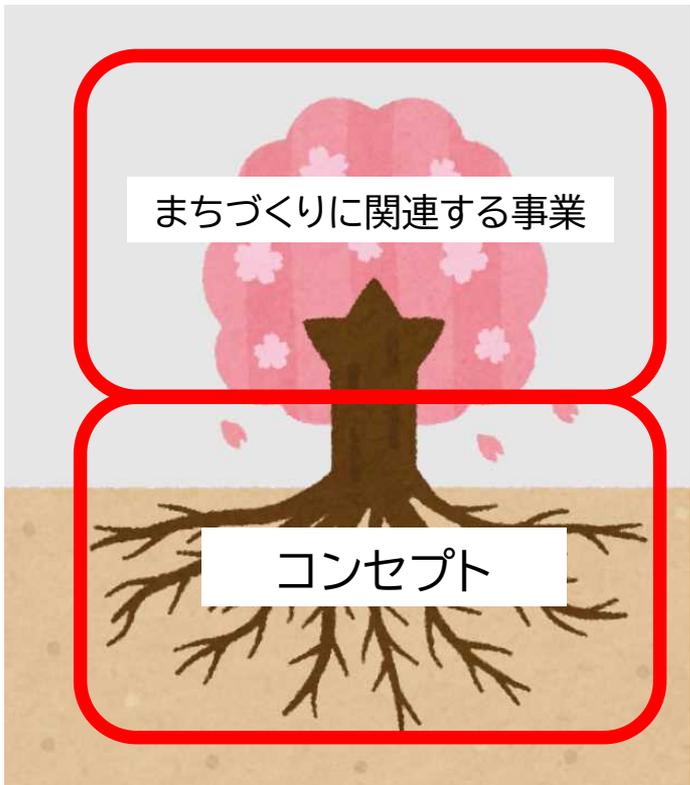


STEP 3 コンセプトの決定

本日のテーマ

コンセプトについて
考えましょう!!

4-3 コンセプトをつくる目的



中央地区のまちづくりで**目指す方向性（根幹）**が決まっていないと、今後実施する事業（ソフト面・ハード面）で一体的・統一的な取組を進めることができない。

- コンセプトとは…
（企画・広告などで）、全体を貫く統一的な視点や考え方
- 木に例えると
…根や幹がしっかりしていないと葉がつかないし、花が咲かない。
根、幹 ⇒ コンセプト
枝、葉、花 ⇒ 中央地区のまちづくりに関連する事業（ソフト面・ハード面）

【参考】

各地のまちづくり等に関するコンセプトです。

それぞれの考え方によって、
色々なコンセプトがあります。

年齢・性別・国籍・障がいの有無など、さまざまなバックボーンや価値観の違いを受け入れ、誰もが安心して暮らせる長く住み続けたいまち

Social	「人と社会」をつなぐ・つむぐ
Place	「人と場」をつなぐ・つむぐ
Enviroment	「人と環境」をつなぐ・つむぐ

4-6 高松丸亀町商店街再開発 コンセプト



人間中心の再開発。ヒューマンなまちを目指す。
町のイメージを共有し、美しい街並みをつくる。
人が集う、にぎわいの広場を創出する。
都市居住を促進。暮らしに近い機能を充実させる。
「楽しく、美しく、豊かな」ライフスタイルの創出

サードプレイス

=自宅でもなく、学校や会社
でもない第三の自分の居場所

提言者：恵庭地区まちづくり市民委員会

3つのW

W a l k

中心市街地再生

W a t e r

ウォーターフロント

W o r k

次世代産業との連動

デザインのカ リノベーション・創造

札幌の街に「遊び場」を ～昼も眠らない街ススキノへ～

市街地再生の目標

駅周辺の再編と交流空間の創出による市街地の再生

～「温泉」と「フラ」を活かしたにぎわい・交流の源泉づくり～

方針1

多世代が集う交流拠点の整備

方針2

温泉とフラのまちの
玄関口としての景観整備

方針3

商店街のにぎわい再生

方針4

温泉街の滞留拠点の形成

方針5

歩きたくなる
沿道景観・道路空間の整備

再生コンセプト

みんなの“ココチよさ”がかなうまち
～まちをひらき、未来をひらく～

中心市街地再生コンセプト

- ・ こちよく過ごせる市民の居場所づくり
- ・ 「歩いて楽しいまち」の実現
- ・ 「市民の共創」によるまちづくりの実現

まちづくりのコンセプト（案）を
事務局で考えてみました。

つい行きたくなる まちなか オアシス

関連するキーワード

楽しい場所

たまり場

協力的・つながり

期待感

気持ちをリセット

特別感

人が歩く(特に子ども)

行政、経済、金融の中心としての機能を持ちつつ、
「ちょっとした時間があるとき」や「予定がないとき」にふらっと行きたくなる
「まち」。

人もまちも元気になる 持続可能なまちへ

関連するキーワード

楽しい場所

たまり場

協力的・つながり

若者が戻りたくなるまち

期待感

新しいまち

人が歩く(特に子ども)

人が集まり、交流することで、まちが活性化され、経済的な豊かさにつながっていくものと考えている。

そのように、人もまちも元気になることで、今後、人口が減少していく中においても、将来に向けて元気なまちを維持していくことを目指す。

絆と協働の力で 世界一幸せなまちへ

関連するキーワード

世界一、世界初

楽しい場所

新しい何かを作り出す

若者が戻りたくなるまち

期待感

新しいまち

特別感

若年層から高齢者まで市民同士の絆を強め、協働によるまちづくりを推進することで、幸福度世界一を目指す。そうすることで、まちに対する市民の愛着が高まり、皆が住んでよかったと思える魅力あるまちにしていきたい。

わくわくとドキドキと 複合的と

関連するキーワード

世界一、世界初

楽しい場所

新しい何かを作り出す

ソフト面の充実

気持ちをリセット

期待感

人が歩く(特に子ども)

新しいまち

特別感

たまり場

若者が戻りたくなるまち

協力的・つながり

ワーキンググループでのキーワードと学生委員会において出た意見を
コンセプトに盛り込みました。